

1938年 大会記録

※すべてフリースタイル

国際

◇日比对抗戦（5月）

- 第1戦 ○ [4-0] ●フィリピン（7日、兵庫・甲子園拳闘場）
第2戦 ○ [4-0] ●フィリピン（12日、東京・日比谷公会堂）
第3戦 ○ [3-1] ●フィリピン（14日、京都・京都体育館）
第4戦 ○ [3-1] ●フィリピン（16日、大阪・大阪YMCA）

◇日米对抗戦（7月）

- 第1戦 日本△ [2-2] △米国（16日、兵庫・甲子園リンク）
第2戦 日本○ [4-1] ●米国（19日、東京・日比谷音楽堂）
第3戦 日本● [2-3] ○米国（23日、京都）
第4戦 明大○ [3-2] ●米国（25日、愛知・名古屋）

国内

◇4大学春季リーグ戦（6月12日～7月2日、東京・一ツ橋体育館）

《順位》[1] 明大、[2] 早大、[3] 専大、[4] 慶大

◇全日本選手権（8月1日、東京・日比谷公会堂）

《優勝者》▼バンタム級 栗原盤（明大）、▼フェザー級 石黒清三（専大）、▼ライト級 吉岡秀市（明大）、▼ウェルター級 風間栄一（早大）、▼ミドル級 ヘルムート・レーマン（ドイツ）

◇早慶对抗戦（10月23日、東京・日比谷公会堂）

早大○ [8-3] ●慶大

◇早慶新人戦（11月4日、東京・神宮外苑相撲場）

早大○ [5-4] ●慶大